



議会
だより

ふなだた



No.156
25年/10

発行：山形県舟形町議会
平成25年10月25日



初期消火訓練



避難訓練 (ほなみ)

8月臨時会・9月定例会概要..... 2P
 臨時会・定例会質疑応答..... 3~4P
 決算審査特別委員会概要・監査意見書..... 5P
 決算審査特別委員会質疑応答..... 6~7P
 一般質問に5議員..... 8~12P
 町民の声・議会活動・請願・意見書..... 13~15P
 えがったなあ・表紙の説明・編集後記..... 16P



浸水した水田

産業振興課長 7月8日から18日まで続いた長雨により、浸水や冠水した農地の殺虫、殺菌等の防除費用の材料代二分の一を補助するための費用です。

議員 農作物等災害対策事業補助金234万円の内容は。

平成25年度一般会計補正予算

第5回臨時会

質 疑 応 答

第5回臨時会
8月7日
9月定例会
5日～12日

9月定例会は、5日から12日までの会期で開催され、5人の一般質問に続き、一般会計・特別会計補正予算等、全議案を原案どおり賛成多数で可決しました。24年度決算については、特別委員会を設置し、本会議において認定しました。

平成24年度決算を認定

総額62億9773万円

- 9月補正予算の主な事業
- ・ 農業用施設災害復旧事業 6790万円
- ・ 公共土木施設災害復旧事業 9421万円

8月補正予算		
会計名	補正額	予算総額
一般会計	3331万円	37億8666万円

9月補正予算		
会計名	補正額	予算総額
一般会計	4億4244万円	42億2910万円
国民健康保険	1530万円	6億9730万円
介護保険	3180万円	7億1900万円
簡易水道	110万円	1億8210万円
農業集落排水	102万円	2億1102万円
公共下水道	808万円	1億9848万円

- 主な付議事件**
- 第5回臨時会**
- 一般会計補正予算
 - 農作物等災害対策事業
 - 風疹予防接種補助事業
 - 婚活推進事業
- 9月定例会**
- 一般会計・特別会計補正予算
 - 舟形町長沢・富長・堀内交流センターの設置及び管理に関する条例の設定 (旧小学校の一部を利用可能)
 - 町役場耐震補強工事請負契約の一部変更 (1407万円の増)
 - 平成24年度決算の認定

議員 予防接種事業37万5千円の内容は。
 税務福祉課長 風しんの予防接種事業です。対象者は昭和39年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女です。
 風しんの抗体検査を行い、抗体の少ない方に予防接種を行います。抗体検査費用70名分と予防接種費用40名分のそれぞれ二分の一を補助します。

9月定例会

平成25年度一般会計補正予算

議員 県道畑大石線通行止め町の対応と、迂回路の整備はできないか。

地域整備課長 県と町で災害による地滑りなのか、亜成公害によるものか調査しています。迂回路の整備は、県と協議していきます。

議員 年度途中で臨時保育士を補充した理由は。

教育次長 当初予算を組んだ昨年の11月時点より、入園希望者が増えたため、臨時職員による保育士の補充となりました。



ナラ枯れの伐採

議員 若あゆ温泉等管理事業の修繕料276万円と伐採委託料100万円の内容は。また、果樹園の今後の管理はどうするのか。

産業振興課長 温泉施設で保有する除雪ドーザーの修理代176万円と、あゆっこ村の遊具修理代100万円です。
 伐採委託料は、コテージの敷地内のナラ枯れした樹木の伐採費用100万円です。
 果樹園は、3年続きの大雪で枝折れ等も多く、一旦全て伐採し、別な形で利用ができないか役員会で話を進めています。

町税の増加と 歳出の抑制により黒字

主な事業

・町道の改良・流雪溝等工事	1億6708万円
・統合小学校の増築工事及び付帯工事	1億2630万円
・除雪対策事業	1億4160万円
・バス車庫新築工事	2312万円
・除雪機格納庫整備事業	1871万円
・小型除雪機械購入事業	394万円

※決算特別委員会とは
議会在議が決定した予算が適正に執行されたかどうかを審査するとともに、各種資料に基づいてその行政効果や経済効果を精査し、住民に代わって行政効果を評価します。

平成24年度各会計決算額表

会計項目	町の収入	町の支出	
一般会計	44億1562万円	42億3593万円	
一般会計歳入歳出差引額 1億7,969万円			
特別会計	国民健康保険	8億 902万円	7億4616万円
	後期高齢者医療	6657万円	6018万円
	介護保険	6億9632万円	6億6453万円
	簡易水道事業	2億 825万円	1億9739万円
	農業集落排水事業	2億 978万円	2億 701万円
公共下水道事業	1億9055万円	1億8655万円	



委員長 叶内 富夫
副委員長 野尻 益夫

平成24年度決算は、9月9日に*決算特別委員会(議長を除く9名)を設置し、7会計を審査しました。9月12日の本会議で採決の結果、全会一致で認定しました。

決算審査特別委員会

どうなる まちの財政力 (%)

区分・年度	24年度	23年度	22年度	説明
財政力指数	0.200	0.205	0.210	1.00に近いほど余裕がある
経常収支比率	88.0	88.3	85.9	70%に収まるのが妥当、85%を超えると改善が必要
自主財源比率	11.8	10.5	11.3	町民税、固定資産税など自ら調達できる財源
実質公債費比率	13.4	14.0	15.3	18%以上は起債(借金)に県の許可が必要



林代表監査委員

監査意見書

決算関係書類を審査した結果、決算計数は適正であると認める。

また、財政健全化法に基づく判断比率の算定は適正にされており、各項目とも基準を下回り、財政は概ね健全であると認める。

町税は、景気の動向等に影響を受け、法人、個人町民税が増加し固定資産税やたばこ税が減少した。歳入の約半数をしめる地方交付税は対前年比5千2百万円の減少となり憂慮される。

財政指標は、公債費比率、将来負担比率等で前年度より好転しているが、自主財源が少なく、依存財源が多数を占める本町にとって厳しい財政事情に変わりはない。

また、町税及び使用料の収入未済額が多額になっているので、その解消にさらなる努力をされたい。少子高齢化が進み、人口減少による町の活性化が失われることがないように、皆で知恵を出し合い、安全で安心な生活環境づくりに努力されたい。



トライワーク授業の様子

議員 学校支援地域事業での地域コーディネーターの業務内容は、

教育次長 小中学校に各1名配置しており、先生方の多忙感を解消するための事務や、地域を活用しての授業を行う時に、地域の方や農家との連絡を取るなどの業務内容です。



観光物産センターの完成予想図

議員 JR舟形駅の名称を変える考えはないか。

産業振興課長 正式な駅名の変更は現段階では難しいが、愛称として「縄文の女神駅」などに変更することができないか、JRと協議しています。

議員 観光物産センター(舟形駅) 改築工事費で、当初230万円の予算計上が今回2000万円増額したのはなぜか。

産業振興課長 当初は舟形観光情報館の移設計画であったが、西ノ前遺跡の環境整備基本方針に基づき、駅舎周辺の整備を再検討した結果、高額な補正となりました。



利用が待たれる交流センター

議員 交流センター(旧長沢・旧富長・旧堀内小学校)の設置及び管理に関する条例の設定

議員 交流センターの管理は指定管理者に委託するのか、職員を配置するのか。

まちづくり課長 今回の指定管理者への委託、職員の配置は考えていません。交流センターの配置及び管理に関する条例を設定し、使用実態を把握して今後の活用について改めて検討します。

議員 交流センターはいつごろから使用できるのか。

まちづくり課長 旧長沢小、旧富長小については県の使用許可手続き終了後に、旧堀内小については11月中旬以降になります。

質 答 疑 応

一般会計

歳入

議員 町税の滞納、滞納繰越について、収納対策はどのようにしているのか。

会計管理者 平成20年度より収納対策室を設置し滞納整理にあたってきましたが、平成25年度は班編制による個別徴収体制をつくり、収納に努めていきます。

歳出

議員 新人職員の基本的なことを研修する計画はあるのか。

総務課長 5名の新人職員については、最上広域で基本的な行政の研修を行なっています。山形の研修センターで、新人職員を対象にした研修にも参加させています。

議員 各種スポーツ大会で活躍した選手を称える役場庁舎への垂れ幕が最近見えないが。

教育次長 町体育協会と協議しながら基準を定めて対応しています。今後、基準の内容等について体育協会と協議していきます。

議員 ほ場整備事業については、ぜひとも必要と考えるが、町としてどのように進めるか。

地域整備課長 現在のほ場整備事業は、条件が整えば自己負担がなく実施できます。これら内容について各地区、集落での会合を実施していきたいと思えます。

議員 効率のよい除雪を行うために、これまでの除雪体制の見直しを行うのか。見直しを行う場合は、広く町民の意見等も聞きながら進めてほしい。

地域整備課長 これまでの工区別業者発注を、全体を一業者に発注するやり方や町直営による除排雪等も含め、これまで以上に効率の良い除排雪体制を構築するために広く検討を進めます。

議員 子宮頸がん予防ワクチン接種を行なった人数は。また、接種による後遺症は発生していないのか。

税務福祉課長 対象人数41名中、接種人数は20名です。町で接種された方で後遺症が発生した例はありません。

議員 体験実習館の管理運営は指定管理者に業務を委託しているが、実績にどのような変化があったのか。

産業振興課長 平成23年度から委託しています。その結果、利用料の増収につながりました。今後も民間活力を利用し、施設利用者の拡大と利用料の増収を目指します。



体験実習館

議員 町所有の小型除雪機は4台になったが、自由に使用できないのが実情である。今後の購入計画は。

町長 町所有除雪機の活用と併せて、町内の個人所有除雪機の借り上げによる地域内での支え合い事業（福寿野方式）をモデルケースとして推進していきます。

議員 長沢1号線流雪消雪工事の内容は。

地域整備課長 当初、井戸水による無散水消雪方式であったが、下流地域の井戸が枯渇したことから、ボイラーでオイルを温める方式の無散水消雪に変更した工事です。



無散水消雪（長沢1号線）



にぎわう若駒まつり

議員 若駒まつり出店料4万円は高いので引き下げ欲しいとの要望がある。検討してもらえないか。

産業振興課長 出店している店により、販売金額に差があるものと思います。出店料の金額については若駒まつり実行委員会と検討するようにします。

議員 国の補助による緊急雇用対策事業はいつまで続くのか。また、補助がなくなった場合の対応はどうするのか。

産業振興課長 国の動向により左右されますが、現在雇用されている方々は1年契約となっています。再雇用については、状況をみながら進めたいと考えています。

国民健康保険特別会計

議員 一般・退職被保険者療養給付費の前年対比で、件数は減少しているが金額が増加している要因は。

税務福祉課長 24年度は高度医療（ガン、心臓病等）の治療が増えたことにより、金額が増加したと考えています。

介護保険特別会計

議員 介護保険認定は職員による調査のほかに、主治医の意見書も必要なのか。一人あたりの費用はどれくらいか。

税務福祉課長 主治医の意見書は、認定審査する上で必須事項となります。

意見書料は、一件当たり三千円から五千円と新規、在宅、施設で異なります。主治医意見書は、町がかりつけ医に依頼するもので、申請者負担は発生しません。審査会の費用と同様に、全て介護保険特別会計から支出されます。



奥山謙三 議員

地域支え合いモデル事業を全集落に設置せよ 導入に向けて支援を行う

【質問】 町では除排雪対策として「高齢者世帯等除雪サービス」、「スノーバスター支援事業」、「生活路線除雪燃料費の支給」、「小型除雪機貸出事業」、「雪に対する悩み苦情について、地域で助け合うなどの対応する集落を支援する」地域支え合いモデル

ル事業」等を行い、きめ細やかに対応しています。地域住民等が助け合い、支え合いの中でこの事業が実施されれば、地域づくりに貢献でき、地域の方々が生み続けたいと感じるのではないのでしょうか。多くの集落でこの事業が実施されるために、

町ではどのように進めていきますか。

【町長】 24年度のモデル事業の良好な実績を踏まえ、25年度は、課題を整理した上で、全町内を対象に実施していきたいと考えています。要綱からモデルという文言を除き、地域支え合い除排雪活動支援事業実施要項を新たに定め、9月補正に全地区分の予算を計上することとしています。

しかし、あくまでも自助努力が原則で、共助、公助は最終手段として考えていただかないと地域も立ち行かなくなることもあるので、注意して取り組む必要があります。

地域で検討し、取り組んでいただきたいと考えており、地域が考えていくことに進めていきます。



活躍する除雪ボランティア

ご当地ナンバーを活用したPRを進めよ

【質問】 原付、小型特殊自動車を取り付ける標識（ナンバープレート）をご当地ナンバーとして、縄文の女神を取り入れたものを作り、PRを進めてはどうですか。

【町長】 現在、県内で導入している市は、東根市（サフランボ）と新庄市（紫陽花）です。（寒河江市は25年10月導入予定。両市とも原付（50cc、90cc、125cc）のみで実施しているようです。舟形町でも在庫数、年間交付台数等から総合的に判断すると、実施する場合は原付のみで対応することが望ましいと思われると思います。現在のナンバープレートの在庫数は、50cc以下が32枚、90cc以下が41枚、125cc以下が55枚、農耕用・小型特殊が156枚となっており、在庫を消費した後に対応したいと考えています。

【質問】 活気あふれる農業推進機構が設立され5年が経過しました。県内で2番目の生産量である「おかひじき」をはじめ、舟形町で生産販売がなかつた作物にチャレンジし、一定の販売実績も上がってきており着実に定着してきていると思います。今後、町の産業として発展させるため、舟形町

産業振興本部会議の活動がポイントになると考えます。農業による産業づくりに関して、町長の考えは。

【町長】 舟形町産業振興本部会議では、これまで取り組んできた多くのプロジェクトや商品を19項目に分類し、それぞれのこれまでの実績について検

証し、更に発展させていく方策を協議しているところです。今後の農業による産業づくりを安定させるための施策としては、農業の中心となる担い手農家、認定農業者の育成確保と地域における農業者組織の育成だろつと考えています。地域の組織育成は、これまで長沢と堀内にそば刈機械利用組

合を立ち上げています。近年では、新品種クラブベリ、早期成圃化技術によるクラブ栽培等を推進し、農業所得の増大を図ってきたいと考えています。また、園芸部門には、県の園芸産地化支援事業や創意工夫プロジェクト支援事業などの助成事業を中心に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

気象予報による災害対策は

【質問】 今年の梅雨は、今まで経験したことのないような大災害になってしまいました。

このような天候の変化の情報いち早くキャッチし、災害対策の一助にするため、気象情報を提供している会社と提携し、舟形町の情報を瞬時に捉え、町民に知らせるような仕組みを考えてみてはどうでしょうか。このような情報の必要性について、町長の考えは。

【町長】 近年、スマートフォンの普及により民間の気象情報サービスを手したり、各家庭にあるテレビ画面でもデータ放送により、各市町村の時間単位での天気の状態を確認することが出来ます。町の気象情報は、山形地方気象台から県危機管理課を通じて専用の防災情報提供システム受信装置で送付されてきます。町の危機管理室では、町民に知らせなければならぬと判断した時は、防災無線での周知を図っています。気象情報だけではなく、県からも様々な情報が入ってきますので、県と町との情報システムの維持に努め、更なる連携を強め、迅速な情報伝達を図り、災害の防止に努めていきたいと思



斎藤好彦 議員

農業による産業づくりは

頑張る農業者の育成と支援



小松菜のハウス栽培



加藤憲彦 議員

一般質問のその後について

手続きを終えた後、事業展開

質問 平成22年3月議会で質問した町道福寿野岡矢場線については、平成23年3月議会で同じ質問をしました。その後の進捗状況は。

また、平成24年4月に一般質問した小学校跡地、南部保育所についても伺います。

町長 町道福寿野岡矢場線は幅員が狭隘で、乗用車もすれ違いが困難な状況であり、大型車は自主規制で通行できなくなっています。この路線については、

舟形町・大蔵村・戸沢村3町村でつくる、舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会があり、その総会の席においても交差点の改良、県道編入について、山形県並びに地元国会議員に要望を行なっているところです。

舟形町・大蔵村・戸沢村3町村でつくる、舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会があり、その総会の席においても交差点の改良、県道編入について、山形県並びに地元国会議員に要望を行なっているところです。

次に南部保育所についてですが、町では、現在のところ上物の設置の計画はありません。臨時駐車場として、既存の駐車場が満車になった時に利用したいと考えています。



混雑する福寿野岡矢場線

町では、平成25年度に概略設計の図面を作成し、補助事業の採択に向け県と協議をしているところであり、それが採択された段階で事業に取りかかることとなります。

次に、小学校跡地については、昨年度アンケート調査を行い、町民の考えを集約しました。まず、長沢小学校については、舟形マッシュルームからの提案を受けています。現在はNPO法人を設立するための準備を行なっているところです。

舟形町の取り組みも進められるようお願いしているところであり、モデル事業または実証事業として認めていただけるよう、成長戦略特区への申請も計画しています。



八鍬太 議員

福祉行政の今後は

支援策について検討

質問 舟形町では平成6年に「福祉のまち宣言」をし、町民一人ひとりが福祉について理解と思いやりの心を培って行動していくことを決意しましたが、今でも介護施設への入所待機者は緩和されていないのが現実であります。

舟形町では平成6年に「福祉のまち宣言」をし、町民一人ひとりが福祉について理解と思いやりの心を培って行動していくことを決意しましたが、今でも介護施設への入所待機者は緩和されていないのが現実であります。

舟形町では平成6年に「福祉のまち宣言」をし、町民一人ひとりが福祉について理解と思いやりの心を培って行動していくことを決意しましたが、今でも介護施設への入所待機者は緩和されていないのが現実であります。

舟形町では平成6年に「福祉のまち宣言」をし、町民一人ひとりが福祉について理解と思いやりの心を培って行動していくことを決意しましたが、今でも介護施設への入所待機者は緩和されていないのが現実であります。

舟形町では平成6年に「福祉のまち宣言」をし、町民一人ひとりが福祉について理解と思いやりの心を培って行動していくことを決意しましたが、今でも介護施設への入所待機者は緩和されていないのが現実であります。



光生園建設予定地



佐藤 勇 議員

人口減少対策を町民とともに

基本構想の実現に取り組む

質問 舟形町の人口は、今年5月に6,000人を割り、今後少子化、過疎化が進み、人口減少は続くものと思われ、舟形町総合発展計画では、2019年の人口目標を6,000人としています。この目標に向け、今後、定住促進対策、高齢

者対策、計画的な町づくりの考えを伺います。

町長 町では、基本構想及び実施計画の実現に向けて取り組むことが大事であると考えており、4つの柱を掲げて施策を行なっています。集合住宅や子育て支援住宅の整備、

他町村からの移住の推進や住宅リフォーム補助、太陽光発電や木質バイオマス、ペレットの推進による環境に優しい住宅の整備などを新しい対策として実施してきました。その他にも交流人口拡大として教育旅行の受け入れ、地域おこし協力隊の里山合宿など、子育て支援として中学生までの医療費無料化などを実施しています。今後、これらの検証を行い、今何が必要かをきちんと分析して取り組んでいきたいと考えています。ただ、町が予算を割いているんなことをするには限界があります。舟形町の人口が6,000人に戻るように町民の方々から協力していただかなければならないことだと思っています。

河床堤防整備で水害対策 光生園が移転計画で向屋地区に造成が進められていますが、移転先の候補地の協議は町も入ってされたのですか。異常気象で災害が続いています。向屋地区は水害の予測される所であり、小国川の河床、堤防の整備をしていくべきと思いますが考えを伺います。

町長 舟和会では、昨年4月27日に光生園施設整備委員会を組織。町からは当時の健康福祉課長、産業振興課長を派遣しました。建設準備委員会は、理事会において選定した移転先の適否を検討していくものとし、現地調査などを行いました。

昨年7月に協議した結果、心配される水害の可能性も極めて低いこと、地域づくりの観点から舟形第4、紫山町内会との交流が図られること、駅からの距離も近く家族会利用者からの同意も得やすいことから向屋地区を決定したと伺っています。小国川の河床、堤防整備ですが、この地区が河川の増水により浸水したことはないものの、最近の異常気象は何が起こるか分かりません。河床に砂利がたまれば撤去していただくよう、また、豪雨等による浸水被害を防ぐために堤防の整備、さらに舟形川の河床浚渫も併せて県に要望していきたいと思っています。

9月末日現在 舟形町	
男	2917
女	3056
計	5973
世帯	1897

6,000人を割った人口

声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

定職を離れて早11年目になりましたが、最近、地域集落組織の存続が危ぶまれている現状を耳にし、今後の地域のあり方を心配する一人です。

少子高齢化の現在、地域町内会が存続できない状況になれば当然、町としての機能も困難を極めることになると思います。特に20年後30年後を考えたとき、人口の減少はもちろんです。現在進んでいる空き家の増加等、悪い要素が沢山出てくるような気がします。でも、町としていろいろな明るい取り組みに努力していることは期待しています。婚活を始めとし「空き家バンク制度」など人口増加に取り組み、特に「舟形の花嫁・お見合い大作戦」は全国に舟形町をアピールする絶好の機会だと思います。山形県でも初めての大きなイベントとなるので、ぜひ成功してもらいたいと思っています。

また、「縄文の女神」のPRキャラクター「めぐみちゃん」は地域を元気にする活動なので、今後も力を注いでいただきたいと思います。

舟形町の今後を心配することはあっても、町長をはじめ議員、町職員が一体となり、舟形町を魅力ある住みよい町にするために努力している限り、明るい未来を信じたいと思います。

また、私たち町民もいろいろなイベント、行事に参画し地域づくりに努力したいと思っていますので、議会としても地域活性化のために支援をお願いします。



阿部 喜一さん (幅)

一貫教育の進め方を研修

文教民生常任委員会 (6月26日)

税務福祉課より25年度の主な事業の説明と、可燃物処理施設の視察研修を行いました。また、教育委員会より一貫教育の進め方、教育目標について説明を受け、保育園、小学校の現地調査を実施しました。

調査項目

- (1) 平成25年度民生費及び衛生費の主な事業について
- (2) 町の保・小・中の一貫教育の進め方、教育目標等について
- (3) 保育園、小学校の現況について、現地調査を実施。
- (4) 可燃物処理施設「エコプラザもがみ」の視察



真剣に工作をする園児たち (ほほえみ保育園)

所感・課題

(1) 民生費・衛生費は、細やかな施策が実施されているが、該当する町民に利用されているか把握しながら行うこと。

(2) 小学校統合により、保・小・中の一貫教育が実施された。保・小の取り組み、小・中の取り組みをねらい通り達成するためには、学校・家庭・地域・行政が協力して行うこと。

(3) ごみは、人口が減っているのに年々増えている。ごみとして捨てるのか、資源として再利用するのかが、人が決めるのであるとの説明であった。ごみではなく資源として再利用することが大切であると痛感した研修であった。



エコプラザもがみ

国会議員に要望活動

議員中央研修 (8月27日～28日)

国会議員の岸宏一氏、阿部寿一氏、大沼みずほ氏を表敬訪問し、舟形町の実態を把握していただくため、次のとおり要望活動を行いました。

要望事項

1. 主要地方道新庄次子村山線「堀内橋」橋梁架替事業の整備促進について
2. 「町道福寿野岡矢場線」社会資本整備総合交付金事業への早期採択並びに交差点改良について
3. 国宝「縄文の女神」の遺跡地整備について
4. 学校校舎等解体費の過疎債適用について



国会議員への要望活動 (議員会館)



議会広報研修会 (東京都)

紙面づくりを勉強

議会報編集委員研修会

(9月30日～10月1日)

東京都のシエンンパツハ・サボーで開催された町議会広報研修会に参加し、2日間にわたり4名の講師による研修を受けました。

初日、講師からは文章表現の仕方や読んでもらえる紙面のデザイン、写真の撮り方などを研修し、2日目は、9町村の広報誌のクリニックを受け具体的な改善点について講義を受けました。

今回の研修会を通して、読者の目を捉え、手に取りやすい議会報づくりを行うことが大切であると感じました。
これからも、町民の皆さんの声に、今まで以上に耳を傾けていきたいと思っております。



町村議員研修会(金山町)

議員の識見を高めることを目的に

町村議会議員研修会 (10月7日)

最上地方町村議会議長会が主催する議会議員及び議会事務局職員を対象とした研修会が、金山町環境改善センターにおいて開催されました。

講師に山形新聞社東北総支社長の吉野剛明氏をお迎えし、最近、特に話題性がある消費税、集団的自衛権、選挙制度改革、そしてTPPなどの問題について、報道関係者の立場から深く掘り下げた解説を伺うことができました。

講師の話から、最近の国内外の諸情勢や政治経済の動向についての識見を高めることができ、たいへんに有意義な研修会でした。

今後の政局・政治展望は

県町村議会議員研修会 (10月15日)

山形県町村議会議長会主催の研修会が、山形国際交流プラザで開催されました。

「今後の政局・政治展望」と題して、日本大学法学部教授岩井奉信氏より、安倍自民党政権がなぜ長期政権になることが予想されるのか、TPP問題、アメリカの財政問題などのお話をいただきました。

次に「環境問題のウソと真実」と題して、中部大教授武田邦彦氏より講演をいただきました。武田氏はテレビ番組にも多く出演されている方で、これまでの「環境問題の常識」に警鐘をならしています。当日は、ユーモアを交えた視点の違う話を聞くことができました。
未来を考えた行動をすることの大切さを感じた研修会でした。



議員研修会

Tシャツ議会

今年も若駒まつりの盛況を願い、9月定例会中に「若駒まつりTシャツ」を着用しての議会を開催しました。



国旗、町旗に一礼して開会

請願

9月定例会で審査した請願は次のとおりです。

新聞の軽減税率に関する意見書の提出を求める請願

採択

請願者 山形新聞親交会

会長 木村 茂昭

意見書

新聞の軽減税率に関する意見書

来年4月に予定されている消費税増税によって各家庭の経済的負担が増せば、新聞の購読を中止する家庭が増えることが懸念される。社会への関心が低下することにより、日本の将来が危ういものになると考えられるため、政府に対し「複数税率の導入」、「新聞への軽減税率適用」の実現を強く要望する。

1. 消費税増税にあたり複数税率を導入すること。
2. 新聞へ軽減税率を適用すること。

提出先

衆議院議長
参議員議長
内閣総理大臣
財務大臣

○道州制導入に反対する意見書

「道州制への移行のための改革基本法案」は、道州制導入後の国の具体的な形を示さず、期限を区切った導入ありきの内容となっており、ほとんどの町村においては、事実上の合併を余儀なくされるおそれが高いうえ、住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまうことは明らかであるため、道州制導入の反対について政府に強く要望する。

提出先

衆議院議長
参議員議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣兼内閣府特命担当大臣



シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。

えがったなあ



□どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？
彼と私の共通の友人つながりで成人の日に出会いました。付き合い始めてすぐの頃にわかった、なまりの可愛さに余計に惹かれました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？
仙台の街並みとは真逆の自然に満ち溢れたとても豊かな町だと思います。父の仕事の都合上、東北全県を転動していましたが、その中でも舟形町は特に人のつながりや交流が深くいいなあと思います。それとなまりの語尾具合が仙台とはまた違っていいなあと思います。

□舟形町での生活はどうですか？
優しい家族に恵まれてとても幸せです。12月には新しい家族が増えるので楽しみで待ち遠しいです。不便なことはありませんが、四季をはっきり感じられる環境が素敵です。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？
まだ嫁いできて間もないので、町の行事等よくわからないので、これからたくさんいるなことを見つけていきたいと思っています。
虫が大の苦手なので、虫の出やすさに驚いています。

□舟形町に望むことはありますか？
コンビニがあれば便利かなあと思います。夜、特に真冬に雪でひどい中、近くても鳥越のコンビニまでいかないといけないので。
あとは行政力の力で向上をお願いします。必要な情報内容、手続等の不足を少々感じました。

舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。
今回は、宮城県仙台市から太折に嫁いで来た庄司麻友美(旧姓鈴木)さんです。皆さんよろしくお願ひします。

お願い

「えがったなあ」に出してみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)

次回の定例会は
12月3日(火)～5日(木)

までの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ先
議会事務局 ☎32-2111

表紙の説明

舟形町と消防協会最上支部による、8年に1回の総合防災訓練が実施されました。

保育園、小学校、JA新庄もがみ、地域密着型介護老人福祉施設「ほなみ」の初参加もあり、総勢700名の防災訓練でした。

表紙の写真は小学校の児童と保護者の初期消火訓練、ほなみの避難誘導訓練です。
訓練を重ね、有事に備えるため、真剣に参加をいただきました。

編集後記

安倍総理大臣は各種経済指標に好転が見られるとのことで、26年4月から消費税を8%に引き上げることを表明しました。これまでの円高によりすでに生活品などの値上げが一部実施されるなど、地方では経済好転を実感するのはまだ遠いように感じられます。

町の明るい話題として、昨年国宝に指定された「縄文の女神」が26年度の500円記念硬貨に刻印されて発行されます。

11月には町で収録された「お見合い大作戦」が全国に放映されることになり、舟形町の知名度が上がるものと期待しています。
ゆるキャラ「めがみちゃん」も完成しました。
これらのことが町の活性化につながるように頑張っていきます。(奥山 謙三記)

発行責任者

議長 信夫 正雄
議会広報編集特別委員会
委員長 佐藤 広幸
副委員長 佐藤 勇
委員 加藤 憲彦
齋藤 好彦
奥山 謙三